

南麻布保育園 “安全と安心”を一番に

震災時の保育園の様子・対応は？

3月11日は2010年度卒園式の当日でした。無事に式を終え、反省会の途中で揺れが起きました。その直後、会議に参加していた職員がパッと保育室に戻り、すぐさまお昼寝中の園児を起こして園庭に避難。居室の安全を確認後ホールに戻り、保護者の引き取りを待ちました。19時30分には園児の引き渡しを完了したのですが、数人の職員は帰宅できず、翌日の調理スタッフと一緒に園にて一夜を過ごしました。

震災の教訓から充実されたことは？

震災時、防災無線設備は有効に機能し、区や総合支所とのやりとりは円滑に行えたのですが、保護者との連絡手段である電話が通じず、自らの判断で広域避難場所に行ってしまった保護者の方もいらっしゃいました。そこで園では、毎月発行する「園だより」の表紙に、園の代表番号のほか緊急時優先電話の番号を記載し周知することにしました。また、散歩時に災害が発生することを想定し、散歩ルートの固定化や散歩台帳の充実(散歩

に行く園児と職員の氏名・携帯電話番号等を記載)、および現場独自の危機管理策として出発前に写真撮影をして、園児の服装を記録しています。

今後の防災方針について

震災の時でも、普段の避難訓練と変わらず職員も園児も迅速で落ち着いて行動することができました。今後も従来の訓練等を怠らず、さらに「子どもを預かる」という責任を意識し、危機管理を徹底することで、園児を元気に保護者のもとへお返しするよう努めます。

「非常時でもパニックを起こすことはありませんでした。」との園長のお話どおり、保護者から「当日お迎え時の園は、いつもどおりで安心しました。」と感謝の声が聞かれました。それは子どもの安全を最優先に確保する職員のプロ意識の高さに加え、安心感を与えつづける姿勢、そしてなによりすべてを包み込む笑顔の賜物だろうと感じました。



- 1 今年度設置予定の備品類
幼児用には「たためるヘルメット型ずきん」が配備される予定。
- 2 常備食
震災の夜、補食として約30食分園児に食べさせた。
- 3 居室内防災グッズ
居室の非常用持ち出し袋や帽子類。災害時に備え、乳児は普段からおんぶに慣らすことも大切。
- 4 総合避難訓練
年に1回、園児全員が広域避難場所である有栖川宮記念公園へ避難する総合避難訓練が行われている。

(左) 松沢(まつざわ)啓子園長 (右) 石川美智子副園長

(取材/浅川一枝、大村公美子、折戸桂子、鈴木敏江 文/鈴木敏江)

今一度ふりかえる 震災時麻布地区では…

3月11日の東日本大震災は、いまだに私たちの暮らしに影響を及ぼしています。当時の現場の状況や災害時の対応策について、南麻布保育園と国立新美術館の2箇所取材しました。



1 国立新美術館全景。
2 採光ガラスと内部
3 (閉) ボタンのないエレベーター表示板。

国立新美術館 美しきアートで元気を

国立新美術館と東日本大震災、シュルレアリスム展

平成23年(2011)3月11日東日本大震災が発生した時、国立新美術館はフランス、パリポンピドゥセンター所蔵品によるシュルレアリスム展が開催中であった。

海外の美術館などから作品を借りる際は、先方から室内温度・湿度管理やリスクマネジメントなど極めて厳しい条件が付される。震災当時は、ポンピドゥセンターに直ちに連絡をとり、借用作品と建物に被害が見られず、かつ室内の状況、放射線量などに異常が見られないことを報告した。会期最終日には、ポンピドゥセンターのアラン・スポン総裁が来日、新美術館の対応に感謝の意を表され、国際的信頼を獲得した。

国立新美術館の防災対策

国立新美術館は建築家、故黒川紀章が設計に当たり、公募展示室10室、企画展示室2室、アートライブラリー、レストラン、ミュージアムショップなどを備えた施設で、平成19年(2007)1月に開館した。施設は、地震・安全対策、雨水の再利用、自然の採光、および床面からの空調などの省エネ・省資源対策、車いす対応のエレベーターなどバリアフリー対策がなされている。(※1)

横揺れ対策の免震装置に併せて上下の縦揺れ対策の制振装置が組み合わせられ、展示室

は作品を保護するためにハロンガスによる消火装置を備え、避難口誘導灯に使用するバックアップ電源などが整備されている。

さらに、経済的価値で測れない貴重な世界的美術品を安定的に展示するために、海外からの搬送や展示期間中の万一に備えての保険加入、また立法化された美術品政府補償制度(展覧会における美術品損害の補償に関する法律)の補償環境も整えている。

今回の震災後では臨時休館、時間短縮などを余儀なくされながら、6月中旬には通常時間の開館に戻している。使用電力15%削減の節電対象美術館として、鑑賞環境に配慮しながら、エスカレーターなどの使用制限の対策を行い、自主企画展用の展示室を閉鎖した。

この度のような大災害に遭うと被災者の方々を含めすべての人々は、その自然の驚異に立ちすくみ、途方に暮れてしまう。このような境遇にいても、美しさを感じるとふと我に戻り、心に灯がともることがある。

「美しきアートで元気を…」と信じ、美術館の運営に専心している国立新美術館である。

※1 独立行政法人国立美術館 国立新美術館編 事業概要 p11
国立新美術館 教育普及室編 国立新美術館 てくてくマップ ④⑥

文中敬称省略
取材協力/独立行政法人国立美術館 国立新美術館 庶務課長 水野元洋、石松慧子

(取材/浅川一枝、伊藤志織、大澤佳枝、折戸桂子、永井メイ文 / 森 明)



ラオス人民民主共和国

面積： 24万平方キロメートル
 人口： 612万人（2009年、ラオス統計局）
 首都： ビエンチャン
 民族： ラオ族（全人口の約半数以上）を含む計49民族
 言語： ラオス語
 宗教： 仏教
 政体： 人民民主共和制
 元首： チュンマリー・サイヤソーン国家主席（ラオス人民革命党書記長）
 議会： 国民議会 一院制（132名）

外務省ホームページ
<http://www.mofa.go.jp/mofaj/area/laos/data.html>より
 特命全権大使： シートン・チツニョーティン
 取材協力/ラオス人民民主共和国

大使を訪ねて ⑰
麻布の"世界"から

Laos



- 1 ラオス仏教の象徴的存在である、ビエンチャンの「タート・ルアン仏塔」のミニチュア。
- 2 カオ・ニャオというもち米は竹製の蒸し器で蒸す。
- 3 蒸し上がったカオ・ニャオは、日本のお櫃にあたるカティップに移して食卓へ。小さいカティップは、片手で一口大の握り丸めて直接いただく。大きいものは家族用のカティップ。

(取材・文/加藤智恵、高柳由紀子、松野暢子)

国交56年を経て、更に強めたい友好

ラオス大使シートン・チツニョーティン氏は、ポーランドやタイで外交官を務めた後、日本に大使として赴任して今年で5年目になる。任期中にラオスの国家主席が初めて日本を訪問するという嬉しい出来事もあった。ラオスと日本は昔から親交が深い。二国間の外交が正式に始まったのは1955年。その翌年、現在の麻布の地にラオス大使館が誕生した。実は大使館が誕生した1956年は、大使ご自身がお生まれになった年でもある。

大使の日本に対する印象は極めてポジティブだ。国、人、文化、食べ物、全てが気に入っていて、大使としての最初のポストが日本で幸運だと感じておられる。日本食の魅力は「美しいこと」「健康的であること」そして何よりも「美味しいこと」と、嬉しいお褒めの言葉をいただいた。

ラオスの主食は米で、カオ・ニャオというもち米が一般的。4~5時間水に浸してから竹製の蒸し器で蒸し、それを同じく竹製のカティップ(Katip)に分ける。いわば日本というお櫃だ。もち米は手でいただく。一方あまり粘り気のないお米も食されており、こちらはボイルして食べる。ラオスは海がなく、「Landlock Country(閉ざされた国)」と言われてきたが、東西経済回廊の開通によりルートを使得って「Landlink Country(地続きの国)」と言われるようになった。そのおかげでベトナム、タイ、そして日本から魚介類を

輸入し、魚も日常的によく食べる。ラオス国内でも日本料理店は人気で、高額ながらその数は増えているそうだ。

ラオスの経済成長率は著しいものがあり、7~8%の勢い。中国が約9~10%なので、ご理解いただけるだろう。日本は長い間、主要援助国としてラオスの経済を助けてきたが、最近の経済発展の要因のひとつは鉱業である。また戦後間もなく日本の支援で建設したダムによる水力発電も大きな輸出財源となっている。今後も山々に囲まれた国土の特徴を生かし、水力発電所を増やす予定でいる。同時に徐々にあるが観光にも力を入れている。特にユネスコ世界遺産に登録されている古都ルアンパバーンは、2008年のNYタイムズの人気投票で、世界でも最も行きたい観光地のひとつに選ばれた。

日本とも友好な関係が続き成長著しいラオスは、今や世界経済の牽引力である中国、そして同じく成長著しいベトナム、タイ、カンボジアなどに囲まれ、今後も様々な点で注目の国と言えるだろう。



「とにかく本が好き」と語る
 港区麻布図書サービスセンター
 チーフ 奥村朋美 さん

世の中にはいろいろな仕事があります
**図書館
 スタッフ**

子どもに生きていく力を 親子で 読んでみよう **KIDS!** ハローワーク



(上) 奥村さん手製のハロウィンの装飾物を机の上に、なごやかに取材。
 (下) 絵本を前に、真剣な表情で説明を受ける。

「人」と「本」との出会いを助けるのが喜び

今回のテーマは図書館スタッフのお仕事です。港区立高陵中学校1年生3名が麻布図書サービスセンターの奥村朋美さんにお話をうかがいました。

◎ どんなお仕事ですか？

司書の資格をもっていて、図書館で働いています。来館者が読みたいと思う本を貸し出すための大切な仕事をしています。港区にない本の場合は他の区にも問い合わせ取り寄せることもあります。資料をデータ化したり、本にカバーをかけたたり、汚れたり破れたりしてしまった本の手直しなどもしています。その他、おはなし会のようなイベントの企画、生涯学習のバックアップ、館内の飾りつけ、ポスター貼りなどの仕事もしています。(文/酒井)

◎ 仕事をしていてうれしかったことは？

やっぱり利用者の方に喜んでもらったことです。本を探している方に、分野などが漠然とした質問をされた際、その方の求めている本を探し当て、ばっちり対応し、「希望通りの本が見つかった」と言って喜んでもらったときはとてもうれしいです。

◎ 他の職業に就くとしたら？

マイクロソフトの役員クラスまでいった人が貧しい国の子どもたちに本を読む楽しさを伝えるためにNPO団体を立ち上げたという本*を読み、他の職業に就くとしたら、こういう仕事や、文化にかかわる仕事がしたいと思いました。

◎ 図書館で働きたいと思う後輩へアドバイスを。

本をよく知っておくこと、人と接することが苦にならないように、明るく、朗らかになる努力をすることです。本は連日大量に出版されているので、外にも目を向けること、あらゆることにアンテナを張っておくことが大切です。(文/森)



おすすめ本が手に取りやすく装飾されたコーナーにて。

私は取材をしていてとても大変なお仕事なんだな、と実感しました。図書館スタッフさんは朝から掃除をしたり雑誌や本の整理をして昼は館内の点検をしたり予約の割り当てをします。そのほかにも季節ならではの飾りつけをします。以前最も忙しい図書館で働いていた頃は一日中走りまわっていて体力も必要だったそうです。一番大変で気を使ったのは、資料や本を汚したり壊したりした時には弁償してもらわなければならないのですが、その説明をわかってもらえなかったことだそうです。

私は小学校の頃よく図書館に行きましたが、図書館スタッフのお仕事の内容はあまりわかっていませんでした。今回の取材を通して、子どもから大人まで、皆が好きな本を一番大切に守ってくださっている方たちに感謝しなければいけないと思いました。(文/岩城)

* ジョン・ウッド著「マイクロソフトでは出会えなかった天職一僕はこうして社会起業家になった」

(取材・文/酒井由里香、森有佐、岩城正珠
 取材サポート/石山恒子、大村公美子)

※麻布図書館は、現在、改装に伴い休館中のため、麻布図書サービスセンターを設置しています。

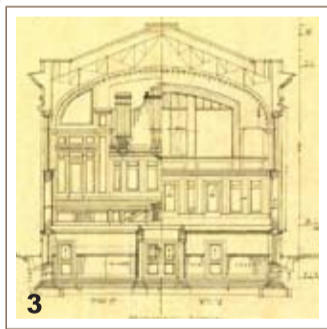


1 開設当時（1919年）の南葵楽堂の外観
（出典：THE OMI MUSTARD=SEED 1913issue
写真提供：株一粒社ヴォーリス建築事務所）

麻布の軌跡

南葵楽堂

タイトルバック地図
区立港郷土資料館刊
「増補 港区近代沿革図集 麻布・六本木」
より作成



3 南葵楽堂の、中央から正面と背面を一枚で表現した興味深い設計図。今も建築事務所
で大切に保管されている。
（資料提供：株一粒社ヴォーリス建築事務所）

4 南葵楽堂に設置されたパイプオルガン
1920年頃
（出典：「南葵文庫附属御大礼奉祝記念館大
風琴」国立国会図書館所蔵）

5 南葵楽堂第1回演奏会（1919年）。舞台には
まだパイプオルガンは設置されていない。
（出典：THE OMI MUSTARD=SEED 1913issue
写真提供：株一粒社ヴォーリス建築事務所）



5

前号では、現在の麻布台一丁目に在った、徳川頼倫（とくがわよりみち）開設の本格的な図書館「南葵文庫」を取り上げた。その嗣子、頼貞（よりさだ）は父の欧州視察土産の珍しい蓄音器で幼少より洋楽に親しみ、音楽による社会貢献を考えた。その拠点として「南葵文庫」の南側に開設された、日本初のパイプオルガン付き音楽ホール「南葵楽堂」のあらままと、未来へと続く遺産についてお伝えしたい。

英国留学で触発された音楽ホールの夢

徳川頼貞（1892～1954）は紀州徳川家の第15代当主頼倫（1872～1925）の嗣子として東京・麻布飯倉に生まれた。大正3年（1914）英国ケンブリッジ大学へ留学、3年間音楽を学んだ。滞英中の様々な経験を通じて、「未だ東京に一つもない純粹の音楽堂を建ててみたい」、そこにはパイプオルガンや音楽文庫を備えたいと夢を持つようになる。当時の日本の西洋音楽は、唱歌教育などでようやく根付き始めた黎明期である。洋行に同行した慶應義塾の小泉信三に相談して賛同を得て、父を説得した。

古典様式の音楽ホールの誕生

頼貞は音楽堂の設計を、ロンドン社交界で知己を得た英国人建築家アルフレッド・ブルメル・トーマスに依頼。パイプオルガンは英国アボット・スミス社へ製造を発注した。折しもヨーロッパは第一次世界大戦のさなかで、依頼より3年後、大正6年（1917）設計図が到着する。更に日本の立地条件に合う修正を、日本在住の米国人建築家ウィリアム・メレル・ヴォーリズへ依頼した。同年、頼貞は英国のオークションで「カミングズ・コレクション」を落札、南葵音楽文庫の基幹に据える。

大正8年（1919）10月、南葵楽堂はようやく落成開堂式を迎えた。建物は鉄筋コンクリート造、正面の4本の円柱上の三角切妻には「南葵文庫」のマーク、捻じ葵から考案した「かたばみ」の紋が付けられ、音楽ホールに相応しいクラシック建築様式を見せる。ヴォーリズは音楽にも造詣が深く、音響や防音に工夫を凝らし、照明・空調にも配慮した調和のとれた建築を目指したという。ホールの舞台は70人編成のオーケストラが演奏可能で、座席数は階上と併せて350。南葵音楽文庫は半地下の図書室に収蔵された。設計図面には映写機の絵があり、学術講演会や映画も写せる公会堂的な構想もあったようだ。

ベートーヴェンを奏でた第一回演奏会

落成式に続く第一回演奏会は、東京音楽学校（現在の東京芸術大学音楽学部）職員生徒と海軍軍楽隊の混成オーケストラと同校男女学生合唱団によって行われ、来賓150名が礼装して聞き入ったという。東洋初の本格的音楽ホールの開設のニュースは、英国の音楽雑誌に紹介され海外へも伝わった。大正9年（1920）には南葵音楽文庫が公開、パイプオルガンも設置された。パイプオルガン披露演奏会は、一般向けにも無料開催され話題を呼ぶ。ホールではオペラ歌手の三浦環など内外の音楽家による演奏会も順調だった。ところが、大正12年（1923）の関東大震災で使用不可能となり閉鎖、わずか5年の活動に幕を下ろす。頼貞は再建をあきらめ、昭和6年（1931）に建物は取り壊された。写真や設計図は現存する。



4



6



8



6.7 上野の旧東京音楽学校奏楽堂へ移築されたパイプオルガン。

8 奏楽堂の建物そのものにも価値がある。

パイプオルガンは当時の東京音楽学校奏楽堂へ

このパイプオルガンはパイプ総数1379本、鍵盤3段、ストップ36個。コンサート用としては、当時の日本最大のものである。南葵楽堂閉鎖後の昭和3年（1928）、頼貞はパイプオルガンを当時の東京音楽学校奏楽堂（現在の台東区立旧東京音楽学校奏楽堂）へ寄贈した。昭和62年（1987）、奏楽堂が上野公園へ移築保存されるのにもとない、パイプオルガンも地域住民の熱心な保存復元運動が実り、台東区や音楽家たちの協力のもと修復された。90年以上の歴史をもつパイプオルガンは、現在も月2回開催されるコンサート等によって、そのやわらかな音色を響かせている。



2 南葵楽堂建設時の徳川頼貞夫妻。
（出典：THE OMI MUSTARD=SEED 1913issue 写真提供：株一粒社ヴォーリス建築事務所）

南葵音楽文庫は慶應義塾大学でデジタルアーカイブ化が進展中

南葵音楽文庫は、英国音楽教育家であったカミングズの貴重なコレクションを基盤として、資料900点、楽譜約5000点、図書4800点を有する東洋最大のプライベート音楽コレクションである。資料にはベートーヴェンの自筆譜、バッハ、ヘンデル等の手稿などが含まれる。閉鎖後は慶應義塾図書館へ委託された。のちに日本近代文学館で昭和45年（1970）から7年間公開されるが、現在は非公開。



9 ベートーヴェンの自筆楽譜（ロシア民謡の編曲）
（資料提供：慶應義塾大学デジタル・メディアコンテンツ統合研究機構）

そして、平成19年（2007）より文部科学省の助成金を受け、慶應義

塾大学の研究機関、デジタル・メディアコンテンツ統合研究機構により、貴重書のデジタルアーカイブ化や資料研究が進められている。プロジェクトリーダーの美山良夫教授のお話によると、「私が学生時代、近代文学館で資料を閲覧し、南葵音楽文庫の価値を認識したことから、世界の共有財産となるべくデジタル化作業に着手しました。」テスト公開中のアーカイブへは海外からの問い合わせもあるそうだ。平成20、21年（2008、2009）には、港区文化芸術活動助成事業による助成と区民の協力を得て、『麻布飯倉 南葵楽堂の記憶』という音楽会を開催し、デジタル化資料の活用を実現した。



10 音楽フロンティアみなと再発見コンサート「麻布飯倉 南葵楽堂の記憶」(2008年)のチラシ。かつて南葵楽堂で上演された音楽や貴重楽譜の再現演奏を果たした。
（資料提供：慶應義塾大学教授 美山良夫氏）

かつて麻布の地で西洋の音楽文化を発信した南葵楽堂、その豊かな遺産は形や場所を変えながらも、21世紀の世界へと確実に受け継がれている。

取材協力／芹野与幸氏（株式会社一粒社ヴォーリス事務所 経営管理室長）
美山良夫氏（慶應義塾大学 教授／アートセンター所長）
毛利 誠氏（公益財団法人台東区芸術文化財団 旧東京音楽学校奏楽堂）
主要参考文献／「樹の声 海の声」辻邦生（朝日新聞社）1982年
「伝道と建築：W.M ヴォーリスとその兄弟たち」
（株式会社一粒社ヴォーリス事務所創業100周年記念事業委員会編 2008年）
「南葵音楽文庫 コレクションの成り立ちと南葵楽堂」（美山良夫編）
「南葵文庫 目学問・耳学問」坪田茉莉子（都朋社 2001年）
「よみがえるパイプオルガン」（台東区立旧東京音楽学校奏楽堂 2006年）
「書庭楽話」徳川頼貞（春陽堂書店 1943年）

（取材／森 明、倉石哲良、田中亜紀、大澤佳枝 文／大澤佳枝 タイトル／高橋 光）

Living in AZABU

We will be happy



Fall, it's so nice

Dear Readers,
 お久しぶりですね。
 いかがおすごしですか？
 今年は大変な年になりました。
 麻布でも震度5弱（！エ〜〜）
 3.11今までに体験した事のない一日になりました。



我等の麻布地区総合支所発行の"防災特集号"。
 その意識をフダンから持っていなければ等々。
 とても参考になる記事がたくさん。

私達も一歩ずつ進んでいきましょうね。
 今はお料理をしたり
 冬のマフラーを編んだり、静かに
 すごそうと思っています。
 ——という思いを込めて
 四ッ葉のクローバーを描きました。
 いい日々のために、いい年月のために
 これが生きてるってことかしらーと思います。
 お身体お大切にお過ごし下さいね。

(イラストレーション・文/湊 早苗)

港区麻布地区 総合支所だより

麻布消防署からの お知らせ

悪質な訪問販売等にご注意ください！

住宅用火災警報器の義務化に便乗して、ご家庭へ訪問して販売や取り付けを行い、高額な代金を請求する悪質販売が発生しています。

- 1.住宅用火災警報器は何十万円もしません！
住宅用火災警報器は、家電量販店やホームセンター、電気器具販売店や防災設備取り扱い店で1個3,000円～10,000円程度で販売されており、自分で取り付けることができます
- 2.消防職員は売りません！
- 3.しつこい勧誘はきっぱり断りましょう。
- 4.契約に関係する書類は必ず保管しておいてください。
- 5.悪質な業者と契約してしまっても諦めないでください。

契約してしまった後でも、状況によってはクーリング・オフ制度を活用して契約の解除等を行える場合があります。諦めずに、消費生活センターにご相談ください。

あやしいと思ったら、その場ですぐに消防署へご連絡ください。

お問い合わせ／麻布消防署防災管理係
電話／03-3470-0119

総合支所からの お知らせ

**「港区基本計画麻布地区版計画書(後期3年)」(素案)が
できました**

「港区基本計画麻布地区版計画書(後期3年)」(素案)は、麻布地区総合支所協働推進課、いきいきプラザ等、または区のホームページでご覧になれます。

また、「港区基本計画麻布地区版計画書(後期3年)」(素案)についてのご意見を募集しています。12月16日(金)までに、ご意見・住所・氏名を記入し、麻布地区総合支所協働推進課へファックス、郵送またはご持参ください。

提出先・お問い合わせ／
 〒106-8515 港区六本木5-16-45
 麻布地区総合支所協働推進課地区政策担当
 電話／03-5114-8812
 FAX／03-3583-3782

学校屋内プール 港区在住・在勤者の方が ご利用いただけます！

本村小学校・高陵中学校屋内プールを開放しています。開放日、時間など、詳しくは区のホームページをご覧ください。

今後とも、本村小学校・高陵中学校屋内プールをご利用くださいますようお願いいたします。

お問い合わせ／
 教育委員会事務局生涯学習推進課スポーツ振興係
 電話／03-3578-2747
 区のホームページ／<http://www.city.minato.tokyo.jp/>

麻布警察署からの お知らせ

**犯罪の被害にあわれた方や
ご家族の皆さまは、
安心してご相談ください**



東京都公安委員会指定
 犯罪被害者等早期援助団体
 公益社団法人被害者支援都民センター
「応援します あなたに笑顔 戻るまで」

電話 03-5287-3336
 月・木・金曜日 午前9時30分から午後5時30分まで
 火・水曜日 午前9時30分から午後7時まで
 (土・日曜、祝日、年末年始を除く)
 FAX 03-5287-3387
 ホームページ <http://www.shien.or.jp>
 ※面接相談・直接支援は必要に応じて行います。

お問い合わせ／麻布警察署
電話／03-3479-0110

AZABU

●配布設置場所ご案内
 六本木1丁目、六本木、広尾、麻布十番の各地下鉄の駅、ちいばす車内、みなと図書館、麻布図書サービスセンター、南麻布・本村・麻布・西麻布・飯倉の各いきいきプラザ、麻布区民センター、麻布地区総合支所等

●本紙掲載の記事・写真・イラストの無断転載を禁じます。

- | | | | |
|-------------------|-------|-------|-------|
| Chief 尾崎恭彦 | 加藤智恵 | 西野さつき | 森 明 |
| Sub Chief 石山恒子 | 倉石哲良 | 野口絢司 | 森角香奈子 |
| Staff 浅川一枝 | 鈴木敏江 | 福本綾子 | 山下良蔵 |
| 伊藤志織 | 高柳由紀子 | 松野暢子 | |
| 伊東みゆき | 田中亜紀 | 満木葉子 | |
| 大澤佳枝 | 永井メイ | 湊 早苗 | |
| 大村公美子 | 大村 響 | 鈴木大智 | 森 有佐 |
| 折戸桂子 | 酒井由里香 | 鈴木美砂 | |
| Junior Staff 石山 茜 | | | |
| 岩城正珠 | | | |

港区は、みどりの保全とごみの減量に努めています。

編集後記

秋も深まり、街にはクリスマスのイルミネーションも輝き始めました。スポーツの秋、食欲の秋、芸術の秋...読者の皆さんはどんな秋をお過ごしですか。よろしければ麻布の街を散策してみたいいかがでしょうか。都心にありながら、有栖川宮記念公園や善福寺のイチョウなど、見所いっぱい。今回ご紹介した国立新美術館でアートに没入するのも素敵ですね。
 (森角 香奈子)

「みなとコール」は暮らしの疑問にまとめてお答えします！

区役所のサービスや施設案内、催し情報など、お気軽にお問い合わせください。年中無休/午前7:00～午後11:00 ※英語での対応もいたします。

電話／03-5472-3710 FAX／03-5777-8752
 Eメール／info@minato.call-center.jp

“Minato Call” information service
 Minato call is a new city information service, available in English every day from 7 a.m. - 11 p.m.
 Minato Call: Tel: 03-5472-3710; Fax: 03-5777-8752; E-mail: info@minato.call-center.jp